

## 協 議 会 会 議 記 録

会 議 名 称	令和3年度 第3回 上里町地域公共交通活性化協議会
日 時	令和3年11月1日(月) 午後2時00分～午後3時30分
開 催 場 所	上里町役所 4階 大会議室
出 席 委 員	<p>○江 原 洋 一 上里町 副町長 <b>【会長】</b></p> <p>○富 川 浩 光 朝日自動車株式会社 運輸部係長</p> <p>○鈴 木 貴 大 株式会社協同バス 代表取締役社長</p> <p>○関 根 肇 一般社団法人埼玉県バス協会 専務理事</p> <p>○高 原 昭 一般社団法人埼玉県乗用自動車協会 専務理事 (代理出席：藤田 貢)</p> <p>○丸 山 眞 司 上里町老人クラブ連合長</p> <p>○清 家 裕 之 国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局支局運輸企画専門官</p> <p>○影 嶋 浩 一 埼玉県本庄県土整備事務所 道路部長</p> <p>○相 馬 伸太郎 上里町まち整備課長</p> <p>○菊 地 祥 一 本庄警察署 交通課長 (代理出席：交通総務係長 金子 貴弘)</p> <p>○今 井 理 雄 駒沢大学応用地理研究所 専門研究員</p> <p>○坂 口 真 一 東日本旅客鉄道株式会社 高崎支社 総務部 経営・財務戦略室 統括リーダー (代理出席：副課長 神宮 一雄)</p> <p>○伊 藤 太佳博 埼玉県企画財政部交通政策課 主幹</p> <p>○亀 田 眞 司 上里町町民福祉課長</p> <p>○間々田 由 美 上里町高齢者いきいき課長</p> <p style="text-align: right;">※敬称略・順不同</p>
欠 席 者	<p>○下 山 彰 夫 上里町区長会長 <b>【副会長】</b></p> <p>○神 宮 つぐよ 本庄地区タクシー協議会長</p> <p>○金 子 秀 和 株式会社協同バス労働組合 執行委員長</p>
傍 聴 者	3名

<p style="text-align: center;">会 議 次 第</p>	<p>1. 開 会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>3. 委嘱状交付</p> <p>4. 議 事</p> <p style="padding-left: 2em;">(1) 報告事項</p> <p style="padding-left: 4em;">報告事項1 「こむぎっち号」運行及び利用状況 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料1</span></p> <p style="padding-left: 2em;">(2) 協議事項</p> <p style="padding-left: 4em;">協議事項1 上里町地域公共交通網形成計画の変更について(案)</p> <p style="text-align: right;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2～4</span></p> <p style="padding-left: 2em;">(3) 次回の会議開催予定について</p> <p>5. 閉 会</p>
<p style="text-align: center;">配 布 資 料</p>	<p>○資料1：上里町コミュニティバス「こむぎっち号」運行及び利用状況</p> <p>○資料2：上里町地域公共交通網形成計画の変更について(案)</p> <p>○資料3：上里町立地適正化計画(素案)</p> <p>○資料4：見え消し 上里町地域公共交通網形成計画 ～抜粋～</p>

発 言 者	発 言 内 容 等
<p>町 長 会 長</p> <p>議長</p> <p>委 員 (運行事業者)</p> <p>議 長</p> <p>事務局</p> <p>議 長</p> <p>委 員 (運行事業者)</p>	<p>資料確認</p> <p>1. 開 会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>3. 委嘱状交付</p> <p>4. 議 事 議事に入る。報告事項1、上里町コミュニティバス「こむぎっち号」運行及び利用状況について (1)「こむぎっち号」の運行状況についてを運行事業者である(株)協同バスに説明を求める。</p> <p>・利用者数について コロナ及びルート再編の影響から利用者は減っている。しかし、今年の中頃からは少しずつ利用者が戻っている。 ルート再編後の利用者の状況について、数字では見えない部分について乗務員のヒアリングを実施。 減少要因は、以前は保健センター(かみさと荘)への利用者が多かったが、コロナ以後、利用者がゼロとなった。全体的に、常連利用者が減っている印象がある。北部ルートでイオンやユニクスへ行っていた方の利用が少なくなった。そういった方が利用した際に「乗り継ぎの仕方がよく分からない」と言った声がある。また、北部ルートについては、片道利用者が多い。一方、新規の利用者もある。南部ルートで駅からユニクスへ行く方が増えている。しかし、その分、中央ルートが減っている。南部ルートについては、複数人で利用する方々が多く見られる。</p> <p>・コロナ対策について 全ての車両で換気をしている。支線ルートについては、換気扇を設置しており、運行中はずっと作動している。中央ルートについては、窓を開けて運行している。 消毒については、利用者への消毒徹底を呼び掛けている。 乗務員については、出勤時の検温、消毒の徹底、会社支給のマスクの着用。また、コロナワクチンについても個人の事情で接種できない方を除いては接種が完了している。乗務員の足元には空気清浄機を設置。 また、車内には安心して利用していただけるように、「コロナ対策実施中」が一目で分かるステッカーを貼っている。</p> <p>続いて1(2)について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>資料1(2)について説明</p> <p>ルート再編で、運行の考え方を大きく変えた。循環型にしたことについて何か意見等はあるか。</p> <p>循環型になったことにより、運転手はとても走行しやすくなったと話している。運転手にとって、走行しやすいルートは、利用者にとっても利用しやすいものになっていると考えられる。1ルートあたりの所要時間が短いので、遅延も少なくなった。乗り継ぎが必ず必要になっている部分については、利用者に多少の不便さを感じさせている。</p>

議 長	コミュニティバスで乗り継ぎ前提の設計にするのはよくあることなのか。
委 員 (運行事業者)	バスの運行形態にもトレンドというものがある。最近のトレンドは1ルートの所要時間が長く、乗り換えなしに目的地に行くというものよりも、速達性が求められている。
議 長	報告事項1に対する委員の質問を受け付ける。
委 員	令和2年度の利用者一人あたりにかかった費用について知りたい。
事務局	令和2年度の国庫補助金等の歳入を差し引いた町単費で617円となっている。
委員	国庫補助金等を考えないといくらになっているか。
事務局	後ほど、回答します。
議 長	報告事項については以上で終了とする。 続いて協議事項1に入る。「上里町地域公共交通網形成計画の変更について(案)」について説明を事務局に求める。
事務局	(事務局説明)
議 長	協議事項1に対する委員の質問を受け付ける。 資料1にある拠点間をつなぐのは「道路ネットワーク」ではなく、「公共交通ネットワーク」とあるが、そもそも「道路」がなければ「公共交通」もないのでないか。
事務局	説明が分かりづらく申し訳ない。 自家用車等で移動するのではなく、公共交通で移動することを表現している。
委 員	本庄市との連携について確認したい。実施スケジュールでは令和3年度までとなっていたが変更案では令和6年度まで延長となっている。令和6年度まで何も検討しないということか。
事務局	連携方法については、町の次期導入形態が決まらないと検討できない。
委 員	本庄市との連携の部分については、早期に対応頂きたい内容であると思うが、どのように考えているのか。
事務局	本庄市をはじめ、児玉郡市内の連携は立地適正化計画の観点からも必要である。他と連携するにあたっては、まず町内のネットワーク作りが最優先である。その後、本庄市との連携については、本庄市の事情も考慮しつつ協議を進めていければと考えている。
委 員	令和6年度まで、変更等は特に何もしないということによいか。
事務局	調整が必要な部分については、必要に応じて対応していくが、令和3年3月にルート再編を実施しているため、現段階では大きな変更は予定していない。

議 長	令和3年3月にルート再編を実施し、従来の往復型から循環型に変更したが、その他に何かルートについて考えられる手法はあるのか。
委 員	埼玉県のコミュニティバスの大半が現在、循環型となっている。その他は2点間を結ぶルートもある。近年、IT技術を活用により、バス停の利用者数を分析し、ルートの見直しを実施している団体もある。
委 員	本庄市と上里町の間には既存の朝日自動車(株)が走行している。民間の既存路線ともっと連携した方策がとれないことが非常に残念に感じる。町運営のバスを毎回同じ時間、例えば9時10分、10時10分等にする事で他への連携がスムーズになるケースがある。可能であれば民間バスがそれに合わせていただければと思う。しかし、そうすると、電車との連携が上手くいかないこともある。
議 長	ただ延長しただけの結果とならないように、先程の委員意見等も参考にしっかりと検討して行って頂きたい。
委 員	朝日自動車(株)の路線は4市町を走行している。コロナの影響で利用者が5割減った時期もあったが、9割程度に戻ってきている。この路線は生活路線として運行しており、通勤通学のための利用が多い。そのため、運行時刻の設定については、電車への乗り継ぎを優先している。また、通勤通学の利用者が多いため、朝晩の利用は多いが、日中の利用者は少ない。当社が抱える課題の部分については、よりよい公共交通の実現のために、関係市町村と協議等をして行けたらと考えている。
委 員	当社の他市町のコミュニティバスの実績を見ると、他の市町への乗り継ぎを可能した団体もあるが、利用実績はほとんどない状況。 本庄市との連携については、双方の運行形態を考えると非常に難しいと思う。既存の民間事業者ともっと連携していく方が現実的だと思う。
委 員	スケジュールを延長した理由と令和6年度までにどのような検討をしていくのか。
事務局	先程の説明と重複する部分もある、関連計画との整合性、ルート再編やコロナ禍での利用者分析等を十分実施するためスケジュールを延長する。 また、次期導入形態の可能性を検討する上では、現コミュニティバスをしっかりと分析しつつ、デマンドやタクシー補助等あるゆる可能性を検討していきたい。その中でIT技術の導入についても検討していく。
議 長	2年を単位に伸ばしていく理由はなぜか。
事務局	導入までの準備期間を逆算していくと、2年必要であると考えている。
委 員	立地適正化計画について専門で研究しているが、居住誘導等が成功している団体は全国で1つもない。当初計画どおりに実施できた団体はないが、付随した公共交通の整備が順調にでき、ある程度の効果があったという例はある。上里町には人が生活するための資源が十分にある。イオンやユニクス等、人が行きたくなる施設がある。また、少子高齢化が比較的緩やかに進んでいく印象がある。上里町の資源をもう一度整理して、考えていく必要があると思う。バスの幹線系統(中央ルート)はそのまま残して、利用者の少ない支線ルートについては、デマンドがよいのではと考える。しかし、それが地域の声とイコールであるかは分からない。町の事業であるので町益を考え選択すればよいのだと思う。どの選択をしてもバスを走らせる上で多少の無駄は仕

議 長	<p>方ないと思う。</p> <p>それでは、「上里町地域公共交通網形成計画の変更について（案）」について、承認者の挙手を求める。</p> <p>（全員挙手）</p> <p>委員全員の挙手により上里町地域公共交通網形成計画の変更について（案）」は原案の通り承認された。</p>
議 長 事務局	<p>次回の会議開催予定について事務局に説明を求める。</p> <p>次回は、地域公共交通確保維持改善事業の事業評価の実施時期である1月中旬頃を予定。詳細な日程が決定次第、通知を発送予定。</p> <p>先程、委員から質問があった、令和2年度の国庫補助金等を入れない利用者一人あたりにかかった費用については、令和2年度の運賃収入を算入後の一人あたりの金額4,300円となる。</p>
委 員	<p>持参資料について説明。</p>
委 員	<p>5. 閉 会</p>

以上